

## 1. 財政見直し

財政見直しは、長期計画の中で最も重要な点です。ともすれば、これまで、財政にゆとりがなくなることを強調する傾向がありましたが、今回は抑制的であることを評価しています。

あくまでも、事実に基づき、必要な事業をどのように実施するかという姿勢で財政の見直しをたてることを望みます。

## 2. 政策的な目標

財政とともに大切なことは、街づくりの目標と市民の間での共有です。

私は、昨年4月、武蔵野市自治基本条例（仮称）の制定に向けた懇談会へ、下記の内容で意見を出しました。一言で言えば、人権尊重と平和を掲げる条例に、ということです。

長期計画策定にあたっては、まちづくりの目標をしっかりと掲げることが必要と考えます。

この4年間で、保育園・障害者の施設建設に関し、地域住民からの反対意見があることを体験しました。市民の間で分断がこれ以上大きくなならないよう、目標とする街のあり方を市が示すことが大切と考えています。

以下参考に2018年4月の意見を掲載します。

ここから引用\*\*\*\*\*

### ◆ 制定プロセスについて

① 骨子案ができた段階で、市民との意見交換会を、各地域各層向けに丁寧に実施していただきたい。

② 議会からの意見聴取については、議会基本条例との整合性を持たせることは当然である。

会派・議員一人ひとりの意見を尊重し、議会内の少数意見に留意していただきたい。

### ◆ 素案の内容について

① 前文に人権尊重・平和と共生を

平和の尊さを書き込むことは必要。武蔵野市に戦前より在日コリアン（注1）の存在があったこともぜひ記述していただきたい。

日本国憲法第14条にある、「人種・信条・性別・社会的身分又は門地により」差別されないことを踏まえ、国籍・年齢・障害の有る無し・性自認・性的指向性を加えた、包括的な、人権尊重・差別禁止を盛り込んだ内容に。

#注1：平和の大切さを訴える中で、在日コリアンの存在を書き込むことが大切と思っています。武蔵野市にあった中島飛行機武蔵製作所はゼロ戦のエンジンを製造していた大工場。アメリカの空襲の標的になり、多くの犠牲者が出ました。朝鮮半島出身の労働者が戦争中から工場で働いていたこと、戦後も市内で苦しい生活をしてきたことなどを書き込めないかと思っています。

## ②市民の定義

素案にある「市内に居住する者、市内で働く者、学ぶ者及び活動する者」との内容を支持する。

## ③住民投票制度

骨子案素案にある常設型の住民投票制度を条例によって設置することを支持する。

成立要件については、一定の投票率とするか、有権者中の当該案件への支持率とするか、もっと議論が必要と考える。

## ④最高規範性の担保

### ⑤人権侵害や差別に対する苦情処理・勧告のできる第三者機関の設置

市民への差別や人権侵害に対して、市民からの訴えを受け止め、事情を調査し、是正措置を勧告のできる第三者機関（注2）の設置をこの条例で規定すべきである。

#注2：武蔵野市男女平等の推進に関する条例第23条では、市が実施する男女平等の推進に関する施策等について、苦情を申し立てることができることを規定しています。自治基本条例にも、包括的な苦情処理・是正勧告のできる機関の規定が必要です。

\*\*\*\*\*引用終わり

## 3. 個別政策

以下の点を、私は市政の中で実現すべき重要政策と考えています。

### ◆安心できる医療と介護を自治体から

- ・政府による医療・介護の後退に対し、自治体独自の政策を磨く  
看護小規模多機能施設・特別養護老人ホームの増設を
- ・高すぎる国民健康保険税の値上げを見直し、負担軽減を

### ◆格差をただし、貧困を無くす

・消費税の10%へのアップを中止し、食料品など生活必需品は0（ゼロ）税率に

→以上は、私の年来の主張です。消費税増税は、市で決められることではありませんが、可能な限り反対の態度をとって政府へ伝えていただきたいと思います。

- ・女性や若者の起業・就労の支援

- ◆子どもたちの育ちを地域で支える
  - ・安心して預けられる保育園を  
待機児ゼロの実現・保育園間の格差是正・保育の質の維持向上を
  - ・不登校の児童生徒の学校以外の学ぶ場の拡充を
  - ・18歳までの子ども医療費の無償化
  - ・児童館の役割の全市域への拡充  
→保育園・幼稚園・児童館それぞれ役割が異なります。どの施設も必要です。公共施設・学校などの複合化には反対です。あれもこれも1か所に詰め込むことは、それぞれの役割をあいまいにすることにつながる恐れがあります。
  
- ◆障がいがあっても、みんなと生きる
  - ・地域に開かれ、人権に配慮した住まいの確保を
  - ・障がいの特性に応じた医療の充実を
  - ・イブニングサービスの本格実施を
  
- ◆原発ゼロへ
  - ・脱被ばく対策—ゲルマニウム半導体測定器による給食食材の放射性物質測定継続を
  - ・原発事故避難者支援こそ復興
  
- ◆緑と農の価値を活かし、住環境を守る
  - ・安全確認のできない大深度地下工法での外環道建設は中止を  
外環道の地上部街路（外環ノ2）反対
  - ・境山野緑地など雑木林と生物多様性の保全
  - ・武蔵野プレイス前の公園を原っぱに
  
- ◆東京都との水道事業一元化については、協議内容の情報公開と都が水道事業を民営化した場合の対応策の検討を
  
- ◆住宅に困窮する世帯へ家賃補助の創設を
  
- ◆人権を尊重し、誰をも排除しない街づくり
  - ・年齢・性別・国籍・性的指向・性自認・出自・障害の有る無しにかかわらず、すべての市民が個性と人権を尊重されるまちを。
  - ・自治基本条例に人権尊重規定及び人権侵害・差別に対する苦情処理・勧告のできる第三者機関設置を明記する
  
- ◆市民の声に寄り添う市役所を
  - ・市民から市役所へは、多種多様な意見・要望が寄せられていると思います。私は、困ったことがあって相談する方に対して、まず話を聞き、市民の大変さ苦しさに心を寄せる市役所になっていただきたいと思います。制度の説明やできない理由を伝えるだけではなく、市民の困難に寄り添う市役所であってほしいと願います。ここから新たな取り組みが始まる可能性もあります。このための研修などの実施を要望します。

=====